

株式売買システムが **バージョンアップ** します！



arrowheadバージョンアップ

2019年11月5日(火) 稼働予定

環境変化・ユーザーのニーズに適切べく
売買制度の改善や取引サービスの向上を図り、
市場機能の強化を実現します

主な取組み

I 売買制度の改善

連続約定気配の改善
終値成立機会の向上

II システム面の改善

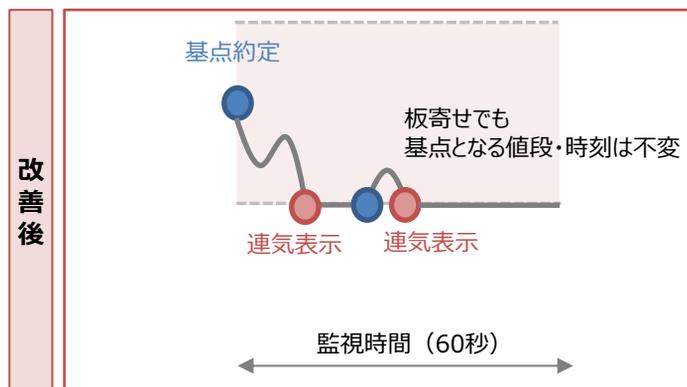
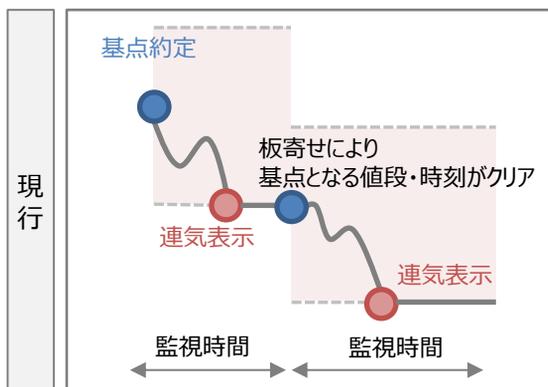
システム処理能力の強化
リスク管理機能力の拡充
ユーザテスト環境の充実

詳細は裏面をご参照ください

I 売買制度の改善

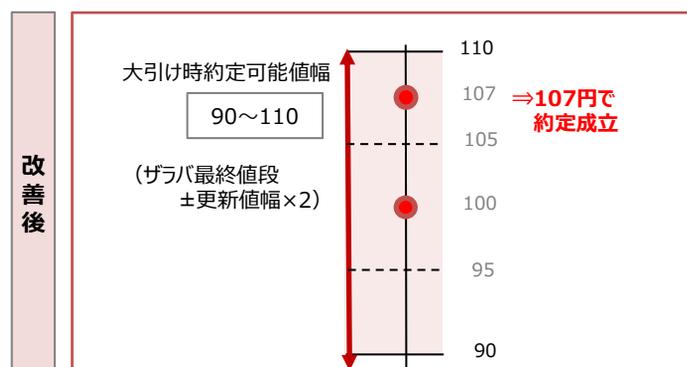
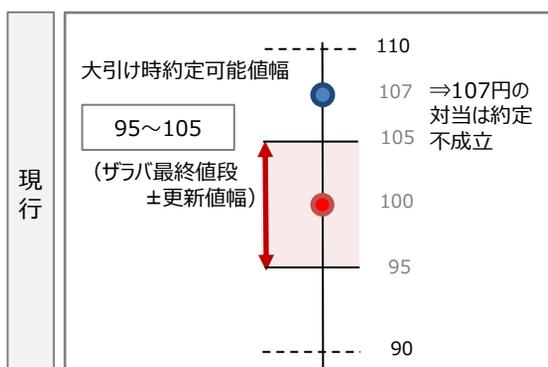
(1) 連続約定気配の改善 – 急激な株価変動を抑止します

急激な株価の変動を抑制するために、連続約定気配（連気）について、監視時間（60秒間）が経過するまでの間は、一定の値幅（気配の更新値幅の2倍）を超過して値動きしない方式に見直します。



(2) 終値成立機会の向上 – 大引けで約定しないケースを減らします

引けの売買ニーズが高い状況において終値約定を成立しやすくするために、大引けに限り更新値幅を2倍に拡大します。



II システム面の改善

(1) システム処理能力の強化

レスポンス性能の安定化のために、注文が集中した際の注文受付及び約定処理のスループット性能を高めるとともに、FLEXサービスの性能改善を図ります。

(2) リスク管理機能の拡充

取引参加者内で仮想サーバをグループ単位で制御できる機能を提供し、きめ細かなリスク管理を可能とします。

(3) ユーザテスト環境の充実

利便性の向上、市場全体の安全性の向上のために、取引参加者・ISV向けにより多くのテスト機会を提供します。（原則毎営業日、早朝・夜間時間帯もテスト可能に）